

兵庫県立龍野高等学校 令和5年度学校評価

1 スローガン

知を創造する人づくり

2 学校教育目標(教育理念)

- (1)「向上」「友愛」「団結」の校訓を根幹に据え、確かな学力と豊かな感性・人間性の涵養に努め、他者への思いやりと優しさを持つ「知・徳・体」の調和のとれた人材の育成を目指す。
 (2) 生徒一人ひとりの心と向き合い、各自が目指すより高い進路目標の実現に見合う質の高い教育を推進し、将来、国家や国際社会に貢献しようとする高い志を持つ人材の育成を目指す。

4 学校関係者評価

- ・地域の子どもへの学習支援等、ボランティア活動を継続しさらに充実させてもらいたい。
- ・教職員カウンセリングマインド研修を継続してもらいたい。
- ・地域住民として学校への支援を惜しまない。龍高生の活動をもっと広く広報してもらいたい。
- ・オープン・ハイスクールでの在学学生、教員との触れ合いは大きな影響力がある。個々の生徒の活躍、研究内容などを広く周知していく努力が必要。PRをしっかりして、「選ばれる学校」にしてもらいたい。
- ・中学校との密な連携を継続してもらいたい。教員の生徒への熱心な指導が成果を生んでいると感じる。地域で「目指すべき学校」であり続けるよう、中学生が気軽に龍高に接する機会を多く設けていただきたい。

3 学校自己評価 (A:4.0以上 達成している B:3.5~3.9 概ね達成している C:3.0~3.4 あまり達成していない D:~2.9 達成していない)

評価項目	調査項目	平均	評価	学校の取組状況・改善の方策
学校全体	1 学校全体について			
	1 生徒は本校に入学してよかったと思っている。	4.2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「龍高生」として自信と誇りが持てるよう、学習や部活動、学校行事、地域との連携など諸活動の充実を目指す。面談等の充実をはかり、目的意識をもって学校生活を送れるようきめ細やかな指導を推進する。 ・生徒の活躍の様子をホームページや龍高通信、SSH通信を通じて、地域や家庭、中学校へ積極的に情報提供を行うとともに、一斉配信メールを活用し、家庭との連携を密にした。ホームページを活用した広報をさらに推進する。 ・ICT環境の整備が進み、講演会や全校集会、探究発表会などをリモートで実施することが常態化できるようになった。一人1台端末(タブレット)を活用した取組をさらに推進する。
	2 生徒は、「龍高生」であることに自信と誇りを持っている。	3.9	B	
	3 生徒は、自分の目標や目的意識を持って学校生活を送っている。	4.1	A	
	4 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的にしている。	4.3	A	
	5 本校の教育環境(施設・設備面)は充実している。	3.9	B	
6 学校は目指している教育目標や指導方針をきちんと説明している。	4.1	A		
授業・進路指導	2 授業・進路指導について			
	7 分かりやすい授業に努めている。	4.2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野に興味・関心を示す個々の生徒の進路実現を図るために、きめ細かく粘り強い進路指導を実践している。新たな入試情報を進路指導部を中心に学校全体で共有し、生徒には目標を高く持たせ、それに向けた努力を支援する進路指導に努める。 ・授業改善のため、学校全体で公開授業を行い、各教科とも研鑽に励んだ。ICT機器を活用した授業にも多くの教員が取り組んだ。生徒のアンケート結果の分析を踏まえ、さらにわかりやすい授業実践に努める。 ・補習は、3年間を通して計画的に実施しており、生徒の進路保障につなげている。3年生では、多くの講座を設け、生徒個々の進路目標に応じて選択できるようにしている。 ・卒業生を囲む会を実施し、大学生の先輩の話聞くことで生徒は進路意識を醸成させた。
	8 学力向上のために補習や補講などきめ細やかな指導している。	4.2	A	
	9 学習面において生徒の理解度を考慮した指導を行っている。	4.1	A	
	10 学校の進路指導は充実している。	4.1	A	
	11 学校の教育課程(カリキュラム)は生徒の進路実現や適性を十分に考えている。	4.0	A	
12 授業アンケートを実施し、授業の改善を行っている。	4.1	A		
生活指導・特別活動	3 生活指導・特別活動について			
	13 心身の健康を維持するための支援(生徒面接・カウンセリング)等をしている。	4.2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任によるきめ細かな個人面談はもちろんのこと、キャンパスカウンセラーと連携を図り、カウンセリングを通じて生徒の心身の健康を維持するための支援を組織的に行った。カウンセリング希望者も多く、精神的な支えとなっている生徒も多い。 ・昇龍祭(文化祭)や体育大会は、コロナ禍以前の形態に戻しつつ、生徒が創意工夫を凝らし成功裏に収めた。関東研修、関西研修も昨年に引き続き現地開催し、生徒の興味関心を高めることができた。修学旅行は、秋に実施し、クラスの仲間意識を醸成できた。台湾研修は、オンラインで事前研修を実施し、4年ぶりに現地を訪問し文化交流をはじめ、姉妹校との交流を深めることができた。コミュニケーション能力の向上を図るため、国際理解教育をさらに推進する。 ・文武両道を根幹に据え、様々な場面で生徒の良いところを見つけ、褒めることで伸ばし、個を大切にしながら指導や自主性を重んじる指導を実践している。生徒は部活動を通して、社会性を育み、忍耐力や達成感を得られている。 ・生徒指導の在り方について、学校全体で共通理解を図り、一人ひとりを大切にしながら生徒指導を実践する。
	14 本校は、個人情報保護し、人権に配慮した教育を行っている。	4.2	A	
	15 本校は、防災や生徒の健康・安全に配慮している。	4.2	A	
	16 本校の学校行事は適切な内容で充実している。	3.9	B	
	17 生徒一人一人が大切にされた生徒指導が行われている。	4.2	A	
	18 本校の生徒会活動は生徒が自主的主体的に運営している。	4.0	A	
	19 本校の部活動は充実している。	4.3	A	
20 生徒は様々な活動を通して、達成感を得たり仲間意識などが高まっている。	4.2	A		